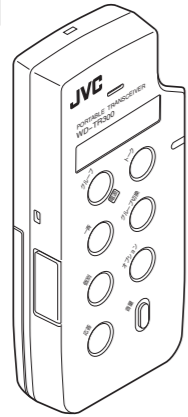


JVC

ポータブルトランシーバー

型名 **WD-TR300**

技術基準適合証明書



取扱説明書

— お買い上げありがとうございます。 —

ご使用前に、この「取扱説明書」と添付の「電池の取扱いについてのご注意」をお読みのうえ、正しくお使いください。本説明書に合わせて「デジタルワイヤレスインターカムシステム／WD-3000シリーズ」の「取扱説明書」と「安全上のご注意」もお読みください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときお読みください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

LST1295-001C

ご注意

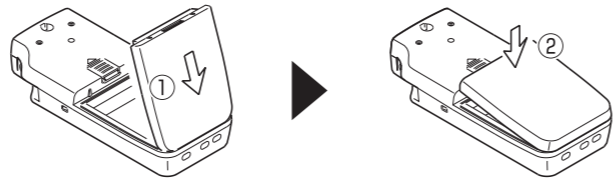
- 本機は「デジタルワイヤレスインターカムシステム／WD-3000シリーズ」のシステム商品です。シンプル通話モードを使用する場合は、次の機器が「(G)」タイプ以降のものを使用してください。
 - ・ポータブルトランシーバー WD-TR300
 - ・メインコントローラー WD-M300
 - ・セルステーション WD-T300
- 本書はポータブルトランシーバー WD-TR300 の機能について解説しています。インカム通話手順や詳しい操作方法については、メインコントローラー WD-M300 に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 本機を分解、改造しないでください。本機の改造は、法律でも固く禁じられています。
- 本機には、「技術基準適合証明書」をあらわす証明ラベルがはってあります。証明ラベルをはがしたり、破いたりすると、サービスを受けられないことがあります。大切に扱ってください。
- 本機を落としたり、ぶつけたり不安定な場所に置かないでください。強い衝撃を与えると故障の原因となります。
- バッテリーを使わないときは、涼しい乾燥した場所に保管してください。高温になる場所（直接日光の当たる場所など）に放置しないでください。液モレや寿命を早める原因になります。
- バッテリーの端子部が汚れていると、動作時間が短くなります。メインコントローラー WD-M300 添付の「充電端子のお手入れについて」をご覧ください。
- バッテリーの充放電回数は約 500 回です。500 回以下であっても動作時間が大幅に短くなったら、バッテリーの寿命と思われる。新しいものをお買い求めください。
- コントロールマイクロホンやイヤホンマイクアダプターを接続するときは、必ず本機の電源を切った状態で行なってください。電源が入った状態で接続すると、保護装置がはたらき、本機での操作ができなくなります。コントロールマイクロホンやイヤホンマイクアダプターも動作しません。
- 【トーク】ボタンを押した状態で本機の電源を入れると、保護装置がはたらき、本機やコントロールマイクロホン、イヤホンアダプターでの操作ができなくなります。
- コントロールマイクロホン WT-UM33 など、ロック式のマイクはロックを解除してから電源を入れてください。

ご使用前に

バッテリーの取り付け／取りはずし

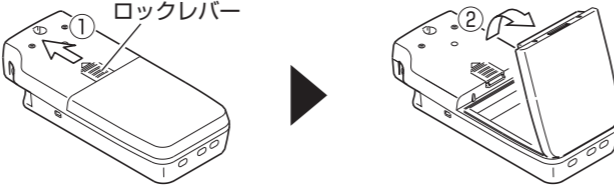
■ 取り付け

本体にバッテリーのつめを合わせ、バッテリーの上部をカチッと音がするまで押す



■ 取りはずし

電源を切った状態で、ロックレバーを下図矢印の方向へスライドさせながら、バッテリーを持ち上げる



充電について

ご使用になるときは、あらかじめ専用充電器 WD-C11/WD-C12 で必ず充電（約 3～4 時間）してください。充電のしかたについては、専用充電器 WD-C11/WD-C12 の取扱説明書をお読みください。

ご注意

- 本機を充電するときは、必ず専用充電器 WD-C11/WD-C12 を使用してください。

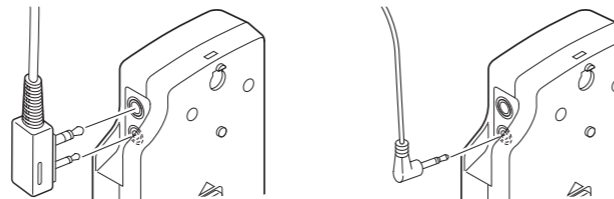
コントロールマイクロホン、イヤホンの接続

別売のコントロールマイクロホン、イヤホンなどを接続します。

- ・適合機種：
 - WT-UM8 / WT-UM50 / WT-UM52 / WT-UM33 / WD-UM300

※ ご使用前に、接続機器の取扱説明書を必ずお読みください。
※ 必ず本機の電源を切った状態で接続してください。電源が入った状態で接続すると、保護装置がはたらき、本機での操作ができなくなります。コントロールマイクロホンやイヤホンマイクアダプターも動作しません。

- コントロールマイクロホン
- イヤホン

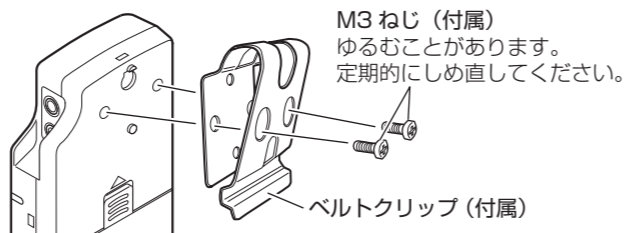


ベルトクリップセットの取り付け

付属のベルトクリップセットを使って、本機をベルトなどにつけて使用することができます。

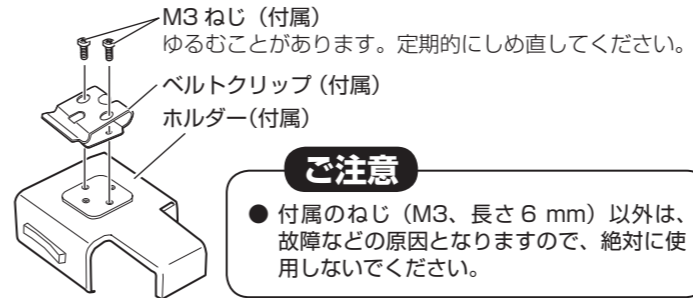
ベルトクリップのみまたはホルダー付の 2 つの方法から選択できます。

■ ベルトクリップの取り付け



■ ホルダーへのベルトクリップの取り付け

ホルダーにベルトクリップを取り付けます。ベルトクリップは横向き（下図）が推奨方向ですが、縦向きでも使用できます。



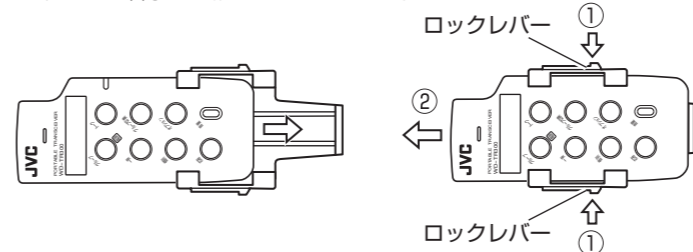
■ ホルダーへの本機の取り付け／取りはずし

● 取り付け

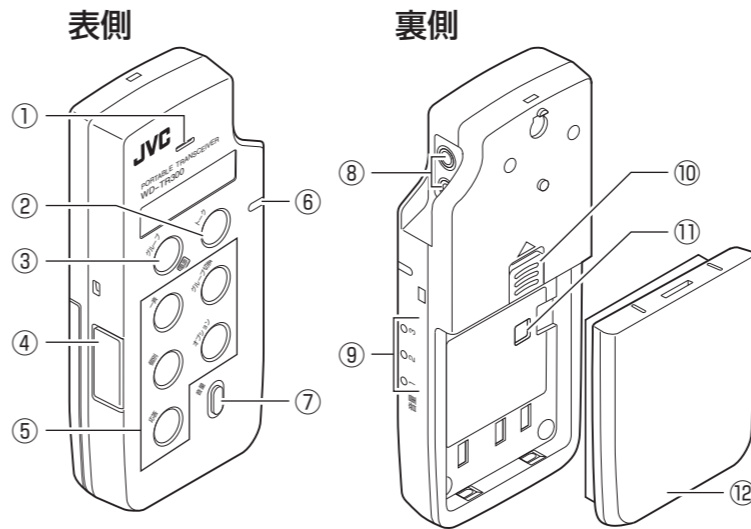
下図のように、ホルダーに本機をカチッと音がするまで押し込みます。ロックされたことを確認してください。

● 取りはずし

ホルダーのロックレバーを押しながら本機を矢印の方向に引き抜きます。



各部の名称とはたらき



① 内蔵マイク

- ・コントロールマイクロホンを使用せずに本機で通話するときは、ここに向かって話します。
- ※ 別売のコントロールマイクロホンまたはイヤホンマイクアダプターを接続すると使用できなくなります。

② 【トーク】ボタン

- ・通話するときに押します。
- ※ 初期設定では、別売のコントロールマイクロホンまたはイヤホンマイクアダプターを接続すると使用できなくなります。設定により使用することもできます。詳しくは、お買い上げの販売店または設置業者にお問い合わせください。

③ 【グループ】（グループ／電源）ボタン

- ・2 秒以上長押しすると、電源が入／切します。
- ・本機が所属するグループ（ホームグループ）のグループ通話モードに切り換えます。

④ データ設定端子

- ・本機をシステムへ登録したり、設定の変更などを行うときに使用します。
- ※ 通常は使用しません。端子には触らないでください。

⑤ 機能ボタン

- ・各ボタンに設定された機能を実行します。

工場出荷時は、次のボタン名と機能が割り当てられています。

ボタン名	一斉	個別	応答	グループ 切換	オプション
機能	一斉通話	未設定	応答	未設定	未設定

※ 各ボタンには任意の機能を設定できます。なお、各ボタンの名称と機能は、本機をお受け取りの際に変更されている場合があります。詳しくは、お買い上げの販売店または設置業者にお問い合わせください。
※ ボタンに割り当てられた機能が「未設定」の場合は、押ししても動作しません。

⑥ 動作ランプ

- ・本機の状態が表示されます。

表示	状態
緑点滅	電源起動中（通常モードで回線接続中）
緑点灯	通常モードで回線接続（エリア圏内、通話可）
赤点灯	回線未接続（エリア圏外、通話不可）
赤点滅	バッテリー残量低下
燈点滅	ヒアリングモードマスター／シンプル通話モード
燈点灯	ヒアリングモードスレーブ／シンプル通話モード

⑦ 【音量】ボタン

- ・受話音量レベルを調節します。受話音量は、[音量] ボタンを押すたびに 10 段階に切りかわります。（☞「受話音量レベル表示」）

⑧ マイク端子／イヤホン端子

- ・別売のコントロールマイクロホン、イヤホン、またはイヤホンマイクアダプターを接続します。適合機種以外のは接続しないでください。

⑨ 音量／バッテリー残量表示ランプ

- ・[音量] ボタンを押しているあいだ、音量レベルを表示します。（☞「受話音量レベル表示」）
- ・本機の電源を入れると、4 秒間バッテリー残量を表示します。
- ・[電池残量お知らせ] ボタンを押すと 2 秒間バッテリー残量を表示します。（☞「バッテリー残量表示」）

⑩ ロックレバー

- ・バッテリーを取りはずすときに使用します。

⑪ モード設定スイッチ

- ・動作モードやサービス用の設定を行います。
- ※ 通常は使用しません。スイッチには触らないでください。

⑫ バッテリー（消耗品）

- ・指定のバッテリーを使用してください。

受話音量レベル表示

[音量] ボタンを押してる間、表示します。（1：音量最小，10：音量最大）

音量レベル (切換順)	音量／バッテリー残量表示ランプ		
	1	2	3
1～2	☀	●	●
3～4	●	☀	●
5～6	●	●	☀
7～8	●	☀	☀
9～10	☀	☀	☀

☀：点灯
●：消灯

バッテリー残量表示

本機の電源を入れたとき、また [電池残量お知らせ] ボタンを押したときに表示します。

バッテリー残量	音量／バッテリー残量表示ランプ		
	1	2	3
約 30% 以上	☀	☀	☀
約 30%～10%	☀	☀	●
約 10% 以下	☀	●	●

☀：点灯
●：消灯

※ バッテリー残量が約 10% 以下に低下すると、バッテリー残量警告音（10 秒間隔でピッ、ピッ…）がなり、動作ランプが赤く点滅します。バッテリーを充電するか、予備のバッテリーに交換してください。

基本操作

ご注意

- *** マークのついた操作は、初期設定では実行できません。実行するにはあらかじめ設定が必要です。お買い上げの販売店または設置業者にお問い合わせください。なお、ボタンに割り付けられている機能が実行できない場合は、無効音（プップ）がなります。また、ボタンに機能が割り付けられていない場合は、押しても音がなりません。
- 本書では、初期設定および付属のラベルを貼付した場合のボタン名を表記しています。お受け取りの際に、本機のボタン名や機能の設定が変更されている場合がありますので、お買い上げの販売店または設置業者にお問い合わせください。

電源を入れる／切る

■ 電源を入れる

- 〔グループ〕 ボタンを 2 秒以上長押しする
動作ランプが緑色で点滅します。システムに接続すると動作ランプが緑色の点灯となり、グループ通話モードになります。システムに接続できないときは動作ランプが赤色に点灯します。接続できる場所へ移動してください。

■ 電源を切る

- 〔グループ〕 ボタンを 2 秒以上長押しする
動作ランプが消え、電源が切れます。

通話をする

本機の〔トーク〕 ボタンまたはコントロールマイクロホンの〔トーク〕 ボタンを使用して通話します。

- 〔トーク〕 ボタンを押しながらマイクに向かって話す

※ コントロールマイクロホンを接続しているときは、本機の内蔵マイクは使用できません。

- 話し終わったら、〔トーク〕 ボタンをはなす

■ マイク動作設定時の操作について

〔トーク〕 ボタンを使用した通話の方法には、「PTT」、「PTT ホールド」、「VOX」があります。これらは設定によって異なります。本書では、PTT 設定での操作方法を記載しています。

- PTT：本機またはコントロールマイクロホンの〔トーク〕 ボタンを押しているあいだ、通話することができます。
- PTT ホールド：本機またはコントロールマイクロホンの〔トーク〕 ボタンを一度押すと通話状態になり、もう一度押すと通話を終了します。
- VOX：音声に反応して自動的にマイク ON の状態になります。〔トーク〕 ボタンを押すことなく、ハンズフリー通話ができます。

※ PTT、PTT ホールド、VOX の設定については、お買い上げ販売店または設置業者へお問い合わせください。

グループ通話モードで通話する

同一グループ内の全員と通話します。

※ グループの設定や変更については、お買い上げ販売店または設置業者にお問い合わせください。

■ ホームグループで通話する

電源を入れた直後は、本機が所属するグループ（ホームグループ）での「グループ通話モード」になっています。他のグループと通話中または他の機能を操作中に、ホームグループでの通話に切り換えるときは、〔グループ〕 ボタンを押します。

■ 通話するグループを切り換える＊

あらかじめ登録された別のグループに切り換えます。ホームグループでの通話に切り換えるときは、〔グループ〕 ボタンを押します。

- 〔グループ切換〕 ボタンを押す
イヤホンから“プッ”とモード切換音が聞こえます。
※ あらかじめ設定されたグループに切り換えます。グループの設定については、お買い上げ販売店または設置業者にお問い合わせください。

一斉連絡をする

一斉連絡には、グループ全員を呼び出す「一斉呼出モード」とグループ全員と通話する「一斉通話モード」があります。操作方法は同じですが、同時に使用することはできません。

※ 「一斉呼出モード」と「一斉通話モード」の設定については、お買い上げの販売店または設置業者にお問い合わせください。

- 〔一斉〕 ボタンを押す
イヤホンから“ビポービポー”と一斉連絡音が聞こえます。
※ “プップ”という音（無効音）が聞こえたときは、しばらくしてからやり直してください。
- 〔トーク〕 ボタンを押しながらマイクに向かって話す
通話が終了したら、〔グループ〕 ボタンを押します。ホームグループでの「グループ通話モード」に戻ります。
※ システムデータの設定により、個別グループを使用していない場合は、個別通話をしている子機に対して一斉連絡はできません。
※ 一斉呼出モードの場合は、相手が応答操作をするまでイヤホンから相手の音声は聞こえません。相手が応答操作をすると、個別通話に移ります。

個別通話をする＊

あらかじめ設定している特定の相手と個別に通話します。
※ 呼び出し先の設定については、お買い上げ販売店または設置業者にお問い合わせください。

- 〔個別〕 ボタンを押す
イヤホンから“トゥルルルルル”と個別呼出音が聞こえ、相手を呼び出します。
※ “プップ”という音（無効音）が聞こえたときは、しばらくしてからやり直してください。
- 相手が応答操作をしたのち、〔トーク〕 ボタンを押しながらマイクに向かって話す
通話が終了したら、〔グループ〕 ボタンを押します。ホームグループでの「グループ通話モード」に戻ります。

応答する

「個別呼出モード」や「一斉呼出モード」、「外線電話着信」、「外線取次」などの呼び出しに応答します。

- 呼出音が聞こえたら、〔応答〕 ボタンを押す
※ 「一斉通話モード」または「招集通話モード」は、呼び出しを受けると自動的に各モードに切り換わるため、〔応答〕 ボタンを押す必要はありません。
※ 外線電話が着信したときは、イヤホンから“ブポビポ”という音が聞こえます。
- 〔トーク〕 ボタンを押しながらマイクに向かって話す
通話が終了したら、〔グループ〕 ボタンを押します。ホームグループでの「グループ通話モード」に戻ります。

放送する＊

構内やフロア内に放送します。

- 〔放送〕 ボタンを押す
イヤホンから“ピッ”とモード切換音が聞こえます。
※ “プップ”という音（無効音）が聞こえたときは、しばらくしてからやり直してください。
- 〔トーク〕 ボタンを押しながらマイクに向かって話す
- 放送を終えたら、〔グループ〕 ボタンを押す
ホームグループでの「グループ通話モード」に戻ります。

招集する＊

あらかじめ設定している特定の複数の相手（招集メンバー）に連絡します。
※ 呼び出し先の設定については、お買い上げ販売店または設置業者にお問い合わせください。

- 〔招集〕 ボタンを押す
イヤホンから“ビポポ”と招集通話音が聞こえます。
※ “プップ”という音（無効音）が聞こえたときは、しばらくしてからやり直してください。
- 〔トーク〕 ボタンを押しながらマイクに向かって話す
通話が終了したら、〔グループ〕 ボタンを押します。ホームグループでの「グループ通話モード」に戻ります。

- ※ 「グループ通話モード」に戻る操作は手順 1 で〔招集〕 ボタンを押した人のみできます。
- ※ 「グループ通話モード」に戻ると、相手も自動的に「グループ通話モード」に戻ります。

ヒアリングモード／シンプル通話モードを使う＊

少ないCS 台数でより多くの子機を運用でき、主に通話の受信を行う「ヒアリングモード」と、通話を行う「シンプル通話モード」があります。通常モードに対して、使用できる動作に制限があります。

※ ヒアリングモード／シンプル通話モードで使用するには、モード設定スイッチや子機データの設定が必要です。詳細は、WD-3000 シリーズ取扱説明書をご覧ください。

設定変更はお買い上げ販売店または設置業者にお問い合わせください。

ヒアリングモードには、ヒアリングマスター子機とヒアリングスレーブ子機があります。

子機のモードは動作ランプで表示されます。
（☎ 表面「Ⓜ 動作ランプ）」

外線電話をかける＊

あらかじめ登録された電話番号に外線電話をかけます。

※ 事前に外線電話発信、着信の設定と電話番号の登録が必要です。お買い上げの販売店または設置業者にお問い合わせください。

- 〔外線発信〕 ボタンを押す
イヤホンから“ブルルルル…”と外線電話発信音が聞こえ、相手を呼び出します。
- 相手が応答したのち、〔トーク〕 ボタンを押しながらマイクに向かって話す
通話が終了したら、〔グループ〕 ボタンを押します。ホームグループでの「グループ通話モード」に戻ります。

外線電話の取り次ぎをする＊

外線電話と通話中、その通話を一時保留状態にして、他の子機に外線電話を取り次ぐことができます。

- 〔外線取次〕 ボタンを押す
イヤホンから“ピッ”と聞こえます。外線電話との通話は保留になります。
- 〔グループ通話モード〕、「一斉通話モード」、「招集通話モード」、または「個別通話モード」で他の子機を呼び出す
相手が応答操作をすると、外線電話取次が完了し、イヤホンから“パポ”と音（取次完了音）がでます。ホームグループでの「グループ通話モード」に戻ります。
※ 「個別通話モード」で呼びかけを行なった場合は、相手が応答操作をすると「個別通話モード」に移行します。相手がもう一度応答操作を行うと、外線電話取次が完了します（このときは、取次完了音はなりません）。
※ 「一斉呼出モード」では、外線電話の取り次ぎはできません。

手動ハンドオーバーを行う＊

現在接続しているセルステーションから、別のセルステーションへ手動で接続を切り換えます。

インカム通話中に音声の途切れが多くなったり、明瞭に聞こえない場合に、接続するセルステーションを切り換えることで改善されることがあります。

- 〔手動ハンドオーバー〕 ボタンを押す
動作ランプが赤色に点灯し、セルステーションに再接続します。セルステーションへの接続が完了すると、動作ランプが緑色に点灯します。

バッテリー残量を確認する＊

現在のバッテリー残量を確認することができます。

- 〔電池残量お知らせ〕 ボタンを押す
音量／バッテリー残量表示ランプが 2 秒間点灯します。
（☎ 表面「バッテリー残量表示）」

本機の使用周波数に関わるご注意

本機の使用周波数帯では、PHS の無線局のほかに異なる種類のデジタルコードレス電話の無線機局が運用されています。本機は、同一周波数帯を使用する他の無線局と電波干渉が発生しないように考慮されていますが、万一、本機から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、本機の電源を落として、お買い上げ販売店または設置業者にお問い合わせください。

保証とアフターサービス

デジタルワイヤレスインターカムシステム／WD-3000 シリーズ取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。

消耗部品について

バッテリーは消耗部品です。部品交換は保証期間内でも有償とさせていただきます。バッテリーをお買い求めの際は、お買い上げ販売店、またはお近くのサービス窓口にお問い合わせください。

商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例にしたがって適切に処理してください。

- リチウムイオンバッテリー（充電式電池）のリサイクルについて
美しい環境維持にあなたも一役。リサイクルに協力しましょう。ご不要になった電池は、貴重な資源を守るために破棄しないで、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。安全のため、充電式電池の金属部には、セロハンテープなどの絶縁テープを貼ってお持ちください。

仕様

送受信周波数　　：1.9 GHz 帯
送信出力　　　　：10 mW（平均）
変調精度　　　　：12.5 % 以下
受信感度　　　　：16 dB μV 以下
電源　　　　　　：DC3.7 V（充電式リチウムイオン電池使用）
使用時間　　　　：約 15 時間

（フル充電時、送信:受信:待ち受け= 1:1:8 の使用比率）
動作温度範囲　　：0℃～+40℃
外形寸法　　　　：53 mm（幅）× 122 mm（長さ）× 21.5 mm（厚み）
質量　　　　　　：58 g（ベルトクリップセット、バッテリー含まず）
仕上げ　　　　　：ABS + PC 樹脂
付属品、添付物　：保証書…………… 1
　　　　　　　　　取扱説明書（本書）…………… 1
　　　　　　　　　電池の取扱いについてのご注意…………… 1
　　　　　　　　　バッテリー…………… 1
　　　　　　　　　ラベル…………… 1
　　　　　　　　　ベルトクリップセット
　　　　　　　　　ホルダー…………… 1
　　　　　　　　　ベルトクリップ…………… 1
　　　　　　　　　ねじ…………… 2

※本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

JVCケンウッド カスタマーサポートセンター	
固定電話	 0120-2727-87
携帯電話・PHS	 0570-010-114
一部のIP電話など	045-450-8950
FAX	045-450-2308
	〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12
<p>ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。</p>	

ホームページ http://www.3jvckenwood.com/

株式会社JVCケンウッド・公共産業システム

〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

© 2016 JVCKENWOOD Public & Industrial Systems Corporation

LST1295-001C